



## 海外から 研修員に聞く



マリア・マグダレーナ・  
ヴォラ・ラヴィーナさん  
(ウルグアイ東方共和国)  
Ms. Maria Magdalena VOLA RAVINA  
皮膚科医師  
共和国大学医学部衛生研究所  
微生物学助手

### JICA帯広「食の安全確保のための人畜共通感染症対策」 コース(2006年10月29日～2007年9月1日)で研修。

#### 帯広で冬を越したマギーさん

帯広センターではマギーさんと呼ばれていた。研究がテーマのコースで研修期間は10ヵ月に及んだ。帯広行きが決まった時、早速インターネットで調べてみたそうで、緑の草地や牛の姿を見て、「国と似ている」と少し安心したらしい。

ウルグアイは南米でも温帯に属するが雪は少ない。「ヨーロッパなどでスキーをしたこともあるので、ここでもゲレンデスキーやクロスカントリースキーを楽しみました」と、長い研修期間を楽しく過ごせたようだ。

未だに馴れないのは夕食時間が早いことだそうで、「ウルグアイに限らず、南米諸国では夕食時間は9時過ぎが普通です。ここで6時とか7時に食事をすると眠るころにお腹が空いてくるの」と笑っていた。



#### 国名の由来は？

国名の「東方共和国」というのは初めて知った。その昔、スペイン植民地時代にウルグアイ川の東方地区と呼ばれていたことに由来するそうだが、不思議そうな表情を見せて、マギーさんは「誰もそんな風には言いません。ただ



ウルグアイと呼びます」ということであつた。

人口346万人。民族はスペイン、イタリア系がほとんどで、公用語はスペイン語。他に、ポルトガル語やポルトガル語のミックスしたブラジリー口語がブラジル国境部で話される。面積17.62万平方kmの国土は概ね温暖である。牧畜や皮革、食肉産業が主要な産業で、牛の数は人間の5倍と言われているようだ。



ウルグアイ国政府の建物

#### 「どう教えるかも学びました」

この研修コースの大きな目的は、食の安全の確保のために感染症について感染経路や診断技術などを習得するもので、研修は主に帯広畜産大学原虫病研究センターで行われた。同研究センターは7つの専門研究分野に分かれているが、マギーさんは「食品有害微生物と化学療養分野」の研究室に所属した。

日々研究に明け暮れ、細菌の精製、分析、検出技術などを学んだ。「帰国後はここで身につけた技術を食品媒介疾病の微生物学的研究に役立てたい」という。



空から見たモンテビデオ市街

#### 首都モンテビデオ

ブラジル南端部からならぬ草原と丘陵が続く。遮る山などが無いことから天候の急変の影響を受けやすい。海岸部は豊かな低地が広がる。

首都モンテビデオは大川プラタ川の河口近くにあり全人口の半分近くが住む。

通貨はペソ (Peso) 24.2Peso=1米ドル(2007年1月現在)

## NRCニュース

### 自治体職員協力交流事業、 研修員来道

平成19年度の研修員として中国黒竜江省出身の米娜(みな)さんが6月中旬に来道した。札幌医科大学口腔外科学講座で歯科治療に関する知識・技術の習得を目指し11月まで研修をする。(国際協力部)

### 今年度第1回国際理解教室 札幌市立常盤中学校

6月28日(木)の午前中、札幌市立常盤中学校(山下利夫校長)の1年生18名が佐々木隆正教諭の引率で北方圏センターを訪問した。「国際理解」というテーマでの校外学習のひとつで、館内を見学したあと北方圏センターの仕事や国際交流について学んだ。

当日は北海道国際課の国際交流員シェイン・クルマイクさん(アメリカ出身)と班帳宇さん(中国出身)が講師となって他の国の物の見方などを易しく話してくれた。(交流部)

### 「2007年報」を発行

「2007年報」を7月5日に発行した。平成18年度に実施した事業の概要をまとめたほか、巻末に北海道姉妹都市・友好提携自治体一覧、道内外国公館・名誉領事館、在日大使館などのリストを資料として載せている。会員、関係先に配布した。(調査研究出版部)

### 「北方四島日本語習得研修」第1回目が終了

平成19年度第1回北方四島交流日本語習得研修が6月16日から7月12日での約1ヵ月間実施された。

日本語の習得を希望する北方四島住民を受入れ、日本語の習得とともに日本での生活や日本文化の体験を通して、相互理解と親善を深め北方領土問題解決に向けての環境作りを図ることを目的とした本事業も今年で7年目を迎えた。研修員の中には複数回の参加となる8名と初参加となる2名の合わせて10名。

研修員はそれぞれに日本語会話のレベルの向上を図るとともに、陶芸や書道、押し絵の日本文化の体験に熱心に取り組み、すっかり日本・北海道びいきになっていた。(交流部)



北方四島交流、日本語の研修中

### 「カルチャーナイト2007」を開催

今年もカルチャーナイトに参加し、7月20日夕方から様々なプログラムを行った。午後5時半開始、JICA札幌の研修員多数の協力を得て、「世界の民族衣装を着てみよう」、「世界のあそびを体験しよう」、「世界の文字で名前を知ろう」などの会場には親子連れが集まった。午後8時半からは、札幌在住の駒ヶ嶺ゆかりさんとピアノ・佐藤歌織さんによるコンサート「北欧の夏をうたう」が開かれて、シベリウスやメリカントなどの小品を解説しながら演奏した。(北方圏センター、札幌国際センター)

